

日時 05年 11月 25日 (金)

2校時 (09:40~10:30)

授業 2年B組 (34名)

教科担任 大木 民郎

研究テーマ：自ら考え、課題を持って意欲的に取り組む授業の展開

1. 課題と学習目標

大単元：家庭経済（家計）からみた経済・流通のしくみ

小課題：家庭の支出

家計費目を知り、合理的に分類したり内容を考えられるような道筋を知る。

本時課題：家計の支出モデルを作る

家計を持った気持ちになって金額や項目を書き込み、家計モデルを考える。

家庭で、買い物額や必要経費などを聞いたりして、よりいっそう関心を持つ。

「収支のバランスがとれた家計に、なったかな？」

「収支」「費目」「バランス」「黒字、赤字」「予算、決算」「やりくり」などの言葉を学ぶ。

次課題：買い物のしかたいろいろ

証券、クレジット、引き落としなど、さまざまなお金の扱いかたを学ぶ。

また、買い物や預金の留意点を学ぶ。

2. 授業の流れ

・昨週からのノート（プリント）に、創造や情報をもとにして具体的な支出額を書き込んで、

一ヶ月の支出表（家計簿）を作ってみる。想像モデルは「10年後の自分の家計」。

・ノート、電卓を持参するよう指示してあるほか、家庭で1回の買い物額を聞いてみるよう課した。家庭で買い物のレシートなどを借りてきた者もいる。

|         | 学習内容   | 留意点   |
|---------|--|---|
| 確認      | 前時までにみんなで予想した使い道（費目）と額とを確認し、修正点を出し合う。  | 実際に家庭で聞いてきた人は？<br>…を優先  |
| 情報を整理する | 昨週までは食費、生活維持費が入っていなかったの、家庭からの情報をもとに金額を書いてみる。   | 生活パターンとして、<br>買い物の回数、商店の種類などを想像できるように会話を進める。  |
|         | 計算する   | 余裕があれば費目の比率も出してみる。  |
| 考える     | 支出に見合った収入を考える。前々時の「十年後の自分」の夢を当てはめながら、収入のイメージを持つ。<br>あるいは収入に見合った支出へと工夫し、収支計画を組んでみる。<br><br>発表を聞き、工夫点や努力するヒントをつかむ。 | ・考える道筋を板書に示す。<br>「自分には〇〇は必要（不要）なので増やし（減らし）ました。」<br>「〇〇なふうに働いて（生活を工夫して）、収支を改善しました。」<br>・余裕があれば班で検討させてもよい。<br><br>・「よくがんばって学習した子には「ボーナス」をあげましょう。」 |
| まとめ     | 学習内容：収支を確実につかむことで、工夫して家計を組み立てていくことを知る。<br>気持ち：勤労（所得）の想像を広げ、社会参加を励ます。   | 家計のスケールは個々のものであり、一概にモデル化はできない。<br>ここでは工夫や努力によってバランスを改善できることを感じられればよい。   |
| 次時      | いろいろな買い物の仕方、お金の払い方があります。<br>銀行やクレジットなど流通の仕組み、利用を学びます。  |   |

3. 学習評価

- ・「家計の支出」をマクロにとらえて収支バランスのイメージをつかむ。
- ・書いたり貼ったり計算したり発表したりという学習活動に参加する。

4. 指導評価

- ・全員が参加できているか。ノートにまとめることができたか。
- ・言葉や説明に不明な点がなかったか。

